

東北自動車道

蓮田サービスエリア(下り線)舗装詳細設計

特記仕様書

令和 6 年 11 月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社

関 東 支 社 さ い た ま 工 事 事 務 所

## 目 次

	頁
第1章 総則 .....	3
1-1 調査等概要 .....	3
1-2 適用する共通仕様書 .....	3
1-3 テクリスへの登録 .....	3
1-4 履行期間 .....	4
1-5 資料の貸与 .....	4
1-6 部分引渡し .....	5
1-7 発注者または監督員が行う協議 .....	5
1-8 計画工程表 .....	5
1-9 調査等打合簿の作成及び提出について .....	6
1-10 工事記録情報の作成及び提出について .....	6
1-11 三者協議会について .....	6
第2章 業務細部に関する事項 .....	8
2-1 業務の内容 .....	8
2-2 適用すべき諸基準 .....	8
2-3 設計条件 .....	8
2-4 業務内容による単価表の表記区分 .....	8
2-5 連絡等施設設計 .....	9
2-6 附帯工設計 .....	9
2-7 構造物設計 .....	10
2-8 舗装設計 .....	10
2-9 設計打合せ .....	11
2-10 交通費・日当・宿泊費 .....	11
2-11 成果品 .....	11
第3章 補足事項 .....	12
3-1 概略設計完了後の契約金額の取扱いについて .....	12
3-2 補足事項 .....	12

#### 参考資料

様式－1	設計工程表（案）
様式－2	履行期間通知書
様式－3	工事記録情報 完了届
様式－4-1	調査等打合簿

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 東北自動車道 蓮田サービスエリア(下り線)舗装詳細設計

1-1-2 路線名 東北縦貫自動車道 弘前線

1-1-3 履行箇所 自) 埼玉県蓮田市黒浜 (K P 1 7. 8)  
至) 埼玉県蓮田市黒浜 (K P 1 8. 4)

### 1-1-4 主な履行内容

項 目		単位	数量	備 考
連絡等施設設計	合同現地踏査	式	1	
	詳細設計	km	1.16	
	施工計画検討	式	1	
附帯工設計	擁壁工設計	断面	3	
	詳細図作成	枚	13	
舗装設計	連絡等施設設計	km	1.16	SA 部
	連絡等施設設計	km	0.22	SIC 部
	詳細図作成	枚	21	
	施工計画検討	式	1	
標識設計	基本設計	型式	1	SA 部
	基本設計	型式	1	SIC 部
設計打合せ		式	1	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

(2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

(3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものと

する。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13 「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間 まで

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 720 日間まで

#### 1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
設計報告書	東北自動車道 蓮田サービスエリア （下り線）詳細設計	契約締結の日の 翌日より 7 日以内	電子 成果品
	東北自動車道 蓮田サービスエリア （下り線）橋梁設計検討業務	契約締結の日の 翌日より 7 日以内	電子 成果品
	東北自動車道 蓮田サービスエリア （下り線）構造物基礎調査	契約締結の日の 翌日より 7 日以内	電子 成果品
標識台帳	加須管理事務所管内標識台帳	契約締結の日の 翌日より 7 日以内	電子 成果品
技術基準等	関東支社 舗装設計施工マニュアル （令和 3 年 7 月）	契約締結の日の 翌日より 7 日以内	電子 資料

## 1-6 部分引渡し

契約書38条の「指定部分」及びその引渡し時期は下表のとおりとする。

指定部分	詳細部分	引渡し時期
連絡等施設設計	施工計画検討	令和7年8月下旬
附帯工設計	擁壁工設計 詳細図作成 D2(仮設防護柵) 詳細図作成 D3	
連絡等施設設計	合同現地踏査及び既引渡し部分を除く	
附帯工設計	既引渡し部分を除く	令和8年2月下旬
構造物設計	—	

## 1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書1-16「関係官公署及び関係会社への手続」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

標識及び路面標示に関わる交通管理者との協議は、発注者または監督員が行うものとする。

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を別途追加する場合がある。

### (1) 道路関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
SIC 県道接続部	埼玉県道 162 号	埼玉県	路面標示 標識	令和8年2月下旬

## 1-8 計画工程表

### 1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書1-7「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
連絡等施設設計	合同現地踏査	
	設計計画	
	図面作成	
	施工計画検討	
	数量計算	
附帯工設計	擁壁工設計	

	詳細図作成	
舗装設計 (SA)	図面作成	詳細図作成を除く
	数量表作成	
	詳細図作成	
	施工計画検討	
舗装設計 (SIC)	図面作成	詳細図作成を除く
	数量表作成	
	詳細図作成	
標識設計 基本設計 (SA)	設計計画	
	図面作成	
標識設計 基本設計 (SIC)	設計計画	
	図面作成	
設計打合せ		

#### 1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、本特記仕様書様式-4-1 「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1-9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-10 工事記録情報の作成及び提出について

- (1) 共通仕様書 1-4-4-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 5 年 7 月版とする。
- (2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。
- (3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株)関東支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

#### 1-11 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進す

る設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者との間で協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。



## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、蓮田サービスエリア（以下、「S A」という。）（下り線）における詳細設計並びに蓮田S A（下り線）及び蓮田スマートインターチェンジ（以下、「S I C」という。）（下り線）における舗装、標識等の詳細設計を行う業務である。なお、設計にあたっては、共通仕様書5-4「連絡等施設設計」、5-5「附帯工設計」、5-6「舗装設計」、5-9「標識設計」及び本特記仕様書に規定する関連項目を適用する。

### 2-2 適用すべき諸基準

共通仕様書5-2-1適用すべき諸基準に、下記を追記する。

名 称	出 典	発行年月	備 考
関東支社 舗装設計施工マニュアル	当社	令和 3 年 7 月	
高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領	当社	平成 27 年 7 月	
スマートインターチェンジ設計指針	当社	平成 23 年 4 月	
道路設計の手引き 道路編	埼玉県県土整備部	令和 2 年 3 月	
高弾性上層路盤用混合物 設計・施工管理要領	当社	令和 6 年 4 月	

### 2-3 設計条件

設計条件は、次の通りとする。

#### (1) 連絡等施設（蓮田S A（下り線））

1) ランプ規格 : A規格

※蓮田S Aの下り線と旧上り線の連絡路の設計速度はV=30km/h 相当とする。

#### (2) 連絡等施設（蓮田S I C（下り線））

1) ランプ規格 : 第3種第4級相当

2) 設計車両 : 普通自動車（車長12m）

3) 設計速度 : 徐行

4) 車線数 : 片側1車線

5) 車道幅員 : 標準部 W=4.0m

6) 計画交通量 : 1,100 台/日

### 2-4 業務内容による単価表の表記区分

単価表の項目末尾名称に、設計業務箇所に応じて下表に示す区分表記を行うものとする。

設計業務箇所	単価表の項目末尾の表記	備 考
蓮田S A（下り線）	(SA)	
蓮田S I C（下り線）	(SIC)	
蓮田S A（下り線）及び蓮田S I C（下り線）	無表記	

## 2-5 連絡等施設設計

### 2-5-1 合同現地踏査

共通仕様書 1-25 によるものとする。

蓮田 S A（下り線）及び蓮田 S I C（下り線）の合同現地踏査に必要なすべての費用が含まれるものとするが、蓮田 S A（下り線）の舗装設計に関する合同現地踏査は蓮田 S A（下り線）の連絡等施設設計の合同現地踏査と同時に行うため費用は計上しないものとする。

### 2-5-2 施工計画検討

本検討は、蓮田 S A（下り線）の土工工事を施工するにあたって、経済性及び施工の制約等を考慮のうえ、次にあげる項目について検討し資料の作成を行うものをいう。

- (1) 本設計業務の内容を踏まえて蓮田 S A（下り線）駐車マスへの影響低減及び監督員が指示した事項を条件とした土工工事の施工計画検討、工程計画検討、施工ステップ図及び数量表の作成。
- (2) 施工ステップは蓮田 S A（下り線）土工工事着手から蓮田 S A（下り線）土工工事完了までとする。
- (3) 施工途中段階における供用中駐車マスを含む駐車場運用に関する詳細図作成（舗装及び区画線、標識、工事中の仮設構造物等）及び数量並びに各施工ステップで生じる撤去物に関する詳細図作成及び数量の算出。
- (4) 施工計画検討の検閲数量は（式）とし、業務規模は共通仕様書 5-5-4「詳細図作成」の設計協議説明図作成及び 5-11「工事発注用図面作成」の規定によるものとし、区分、作業難易度、数量及び内容は次の通りとする。なお、数量は想定であり業務規模の増減に伴う費用は、別途監督員と協議し定めるものとする。

区分	作成 難易度	数量 (枚) (程度)	内容	備考
詳細図作成 施工計画検討	複雑	25	施工ステップ、 駐車場改良工等	
図面修正 図面の修正率 10%未満	比較的簡 易な図面	5	仮設排水工等	
図面修正 図面の修正率 30%未満	比較的簡 易な図面	5	構造物取壊し等	
図面修正 図面の修正率 50%未満	比較的簡 易な図面	5	仮設工詳細図等	

## 2-6 附帯工設計

### 2-6-1 擁壁工設計

本設計は次に示す箇所について行うものとする。

名称	測点・地点 (付近)	種別	延長 (m)	設計内容	設計 区分	同一 設計 区分	断面 数	すべり 安定 計算 の有無	備考
A1	スロープ (下り線)	軽量 盛土	90	概略一般図 作成後 の詳細設計	基本 断面	A	1	有	補強土 壁を準 用
A2	スロープ	軽量	105	概略一般図	同一	B	1	有	補強土

	(旧上り線)	盛土		作成後 の詳細設計	断面			壁を準 用
	SIC 連絡路		30			1		

## 2-6-2 詳細図作成

本設計は次に示すとおり行うものとする。

名称	図面区分	枚数	作成難易度	簡易な 応力 計算	備考
A2	用排水工	5	普通	無	用排水詳細図(3枚) 自由勾配側溝詳細図(2枚)
D2	設計協議 説明用	5	普通	無	仮設防護柵(4枚) 連続防護柵(1枚)
D3	設計協議 説明用	3	複雑	無	用排水溝撤去平面図(1枚) 用排水溝撤去詳細図(2枚)

## 2-7 構造物設計

### 2-7-1 詳細設計

本設計は次に示すとおり行うものとする。

対象箇所	構造物種別	備考
県道擁壁	土留擁壁	・土留工（深さ 8m未満）準用 ・基本設計完了後の詳細設計

## 2-8 舗装設計

### 2-8-1 連絡等施設設計 詳細図作成

本設計は次に示すとおり行うものとする。

名称	作成難易度	枚数	区分	備考
A1(SA)	簡単	1	舗装区分詳細図	
		6	路面標示工詳細図	
A2(SA)	普通	2	舗装端部詳細図	
		2	用排水工詳細図	
		1	交通管理施設詳細図(縁石構造図)	
A1(SIC)	簡単	1	ラウンドアバウト	
		1	舗装区分詳細図	
		3	路面標示工詳細図	
		1	交通安全施設詳細図(立入防止柵詳細図)	
A2(SIC)	普通	1	舗装端部詳細図	
		1	用排水詳細図	
		1	交通管理施設詳細図(縁石構造図)	

### 2-8-2 施工計画検討

本検討は、蓮田 S A(下り線)の舗装及び標識工事を施工するにあたって、経済性及び施工の制約等を考慮のうえ、次にあげる項目について検討し資料の作成を行うものをいう。

- (1) 本設計業務の内容を踏まえて蓮田 S A（下り線）駐車マスへの影響低減及び監督員が指示した事項を条件とした舗装工事の施工計画検討、工程計画検討、施工ステップ図及び数量表の作成。
- (2) 施工ステップは蓮田 S A（下り線）舗装工事着手から蓮田 S A（下り線）舗装施工完了及び、現蓮田 S I C（下り線）撤去から現蓮田 S I C（下り線）舗装施工完了

までとする。

- (3) 施工途中段階における供用中駐車マスを含む駐車場運用に関する詳細図作成（舗装及び区画線、標識、工事中の仮設構造物等）及び数量並びに各施工ステップで生じる撤去物に関する詳細図作成及び数量の算出。
- (4) 施工計画検討の検測数量は（式）とし、業務規模は共通仕様書 5－5－4「詳細図作成」の設計協議説明図作成の規定によるものとし、区分、作業難易度、数量及び内容は次の通りとする。なお、数量は想定であり業務規模の増減に伴う費用は、別途監督員と協議し定めるものとする。

区分	作成 難易度	数量 (枚) (程度)	内容	備考
施工計画検討	複雑	10	本特記仕様書に定めるもの	

## 2－9 設計打合せ

設計打合せとは、本設計を実施するうえで必要な打合せをいう。業務内容確認検査及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこととする。

打合せ回数は、当初の打合せは現地踏査に含まれるものとし、業務内容確認検査、工事発注前打合せを含め 18 回とする。工事発注前打合せとは、舗装設計について、履行期間内に施工計画、設計図面、適用する標準図集、設計計算数量書、材料一覧表、工法選定検討資料等を用いて、設計成果の確認を行うものをいい、回数は 2 回とする。また、完了検査はWEB方式により行うものとする。ただし、WEB方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施について別途監督員と協議するものとする。

打合せ場所は、工事発注前打合せ及び業務内容確認検査は東日本高速道路株式会社関東支社で行うものとし、その他の打合せは東日本高速道路株式会社関東支社さいたま工事事務所とする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

設計打合せの検測数量は、（式）とする。

## 2－10 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、合同現地踏査及び設計打合せに必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。

WEB方式にて実施する場合の完了検査の交通費・日当・宿泊費の費用は計上しないものとする。なお、協議により完了検査がWEB方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

交通費・日当・宿泊費の検測数量は、（式）とする。

## 2－11 成果品

報告書の表紙は黒とし、金文字製本とする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 概略設計完了後の契約金額の取扱いについて

本設計の参考図は、検討中であり、契約締結後、調査等請負契約書第19条の規定に基づき、監督員が設計内容の変更及び追加を指示するものとし、その費用については、発注者と受注者で協議のうえ、契約変更の手続きを行うものとする。

なお、概略設計の完了予定時期は次のとおりとする。

業務名	完了予定時期
東北自動車道 蓮田 SA（下り線）施工計画検討	令和7年1月下旬

#### 3-2 補足事項

次に示す事項としては、現在関係機関と協議中であり、追加する場合がある。これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。

- (1) 概略設計の完了に伴う各種変更及び追加
- (2) 標識の配置検討の結果、関係官公署との標識協議の結果に伴う、標識構造検討・標識詳細図作成の追加及び変更。
- (3) 本業務の設計結果により、通路・広場（アプローチ広場）設計、施工計画検討及び軟弱地盤対策検討が必要となった際は本業務へ追加を行う場合がある。
- (4) 関係機関（国土交通省、自治体、道路管理者及び交通管理者等）との協議・調整により、設計内容の変更及び追加を行う場合がある。

以上

## 1 設計業務

日 時	社 員 名	日 時	社 員 名
1. 設計計画	1. 設計計画	1. 設計計画	1. 設計計画
2. 設計実施の体制	2. 設計実施の体制	2. 設計実施の体制	2. 設計実施の体制
3. 設計実施の体制	3. 設計実施の体制	3. 設計実施の体制	3. 設計実施の体制
4. 設計実施の体制	4. 設計実施の体制	4. 設計実施の体制	4. 設計実施の体制
5. 設計実施の体制	5. 設計実施の体制	5. 設計実施の体制	5. 設計実施の体制
6. 設計実施の体制	6. 設計実施の体制	6. 設計実施の体制	6. 設計実施の体制
7. 設計実施の体制	7. 設計実施の体制	7. 設計実施の体制	7. 設計実施の体制
8. 設計実施の体制	8. 設計実施の体制	8. 設計実施の体制	8. 設計実施の体制
9. 設計実施の体制	9. 設計実施の体制	9. 設計実施の体制	9. 設計実施の体制
10. 設計実施の体制	10. 設計実施の体制	10. 設計実施の体制	10. 設計実施の体制
11. 設計実施の体制	11. 設計実施の体制	11. 設計実施の体制	11. 設計実施の体制
12. 設計実施の体制	12. 設計実施の体制	12. 設計実施の体制	12. 設計実施の体制
13. 設計実施の体制	13. 設計実施の体制	13. 設計実施の体制	13. 設計実施の体制
14. 設計実施の体制	14. 設計実施の体制	14. 設計実施の体制	14. 設計実施の体制
15. 設計実施の体制	15. 設計実施の体制	15. 設計実施の体制	15. 設計実施の体制

## 2 関連業務資料

[illegible]

### 3 貨与資料

[illegible]

#### 4 關係網協議

[illegible]

#### 4 その伯羅塞斯事項

氏名	性別	生年月日	年齢	職業	所属団体	備考
山田 太郎	男	1980-01-15	38	会社員	日本サッカー協会	
田中 花子	女	1985-03-22	33	主婦	日本サッカー協会	
佐藤 一郎	男	1990-07-10	28	学生	日本サッカー協会	
鈴木 美咲	女	1992-11-05	26	学生	日本サッカー協会	
高橋 健太	男	1995-05-18	23	学生	日本サッカー協会	
中村 真由	女	1998-09-03	20	学生	日本サッカー協会	
小林 大輔	男	2000-12-01	18	学生	日本サッカー協会	
渡辺 千鶴	女	2002-04-12	16	学生	日本サッカー協会	
山本 拓也	男	2003-08-25	15	学生	日本サッカー協会	
水野 莉子	女	2004-02-14	14	学生	日本サッカー協会	
森田 悠太	男	2005-06-07	13	学生	日本サッカー協会	
石川 美穂	女	2006-10-20	12	学生	日本サッカー協会	
山口 健一	男	2007-03-09	11	学生	日本サッカー協会	
松本 愛	女	2008-07-28	10	学生	日本サッカー協会	
佐々木 光	男	2009-11-16	9	学生	日本サッカー協会	
高木 舞	女	2010-05-04	8	学生	日本サッカー協会	
橋本 大志	男	2011-09-23	7	学生	日本サッカー協会	
中島 結衣	女	2012-01-11	6	学生	日本サッカー協会	
小島 健	男	2013-05-29	5	学生	日本サッカー協会	
山口 莉奈	女	2014-09-17	4	学生	日本サッカー協会	
山崎 拓海	男	2015-03-06	3	学生	日本サッカー協会	
水野 美空	女	2016-07-24	2	学生	日本サッカー協会	
森田 悠斗	男	2017-11-12	1	学生	日本サッカー協会	

● 考 點 點 評

第 3 期 報告 表	第 1 期 報告 表	第 2 期 報告 表	第 3 期 報告 表	第 4 期 報告 表	第 5 期 報告 表
第 1 期 報告 表	第 2 期 報告 表	第 3 期 報告 表	第 4 期 報告 表	第 5 期 報告 表	第 6 期 報告 表

## 6 照查内容

[illegible][illegible]

様式-2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 東北自動車道 蓮田サービスエリア(下り線)舗装詳細設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

(3-2. 受注者が設定した業務の終期)

様式-3

令和 年 月 日

監督員 \_\_\_\_\_ 殿

受 注  
管理技術者 \_\_\_\_\_ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路㈱ 関東支社 さいたま工事事務所	
調 査 等 名		東北自動車道 蓮田サービスエリア(下り線)舗装詳細設計	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。



## 調査等打合簿

第 回					追番	—	頁
	令和 年 月 日				令和 年 月 日		
	打合せ簿を受領しました。				打合せ簿を受領しました。		
発注者 印	監督員	主任 補助 監督員	補助 監督員	施工 管理員	受注者 印	管 理 技術者	担当者
事 業 者 名					受 注 者 名		
調 査 等 名					打合せ方式	会議・電話	
日 時					場 所		
出 席 者	発注者側				受注者側		
打 合 せ 項 目	打合せ事項・内容				回答・指示事項		

(注1) 電子メールによる伝達とする。

(注2) 電子メールの場合、受注者は受領欄に押印したうえで、発注者に電子メールで返送のうえ、保管するものとする。

(注3) 内容欄には、下記事項毎に整理して記載すること。

当社側：請求、通知、協議、回答、承諾

受注者側：請求、報告、申出、質問、協議、提出

(注4) 打合簿作成者側の受領表示は、取消し線により削除すること。